



発行所  
佐賀県保険医協会  
佐賀市駅前中央1-9-45  
(大廣生命ビル4F)  
電話 0952(29)1933  
FAX 0952(23)5218  
HP http://saga-doc.jp  
hoken-i@star.saganet.ne.jp  
購読料 1部 200円  
送料込 年間2,400円  
(会員の購読料は会費に含まれています)

# 第41回定期総会

8月27日(土)佐賀市のマリタール創世にて、第41回佐賀県保険医協会定期総会と市民公開講演会を開催しました。

## 総会

総会は今村洋一理事による開会あいさつで始まり、梅津健太郎常任理事を議長に選出しました。その後議事に入り、藤瀬恭平常任理事から、2021年度活動報告、山口安和常任理事による



総会に参加された役員・会員の先生方

## 市民公開講演会

2021年度決算報告、上松誠八郎監事からの監査報告があり、承認されました。その後、2022年度活動方針案が中山利治副会長より、2022年度予算案が山口常任理事より提案され採決を行い、可決されました。続いて役員改選が行われ理事23人、監事2人の陰性を確認しました。

市民公開講演会では「今こそ聞きたい!!紛争解決学によるウクライナ情勢の出口戦略」と題して、足立力也氏(一社)コスタリカ社会科学研究所 代表理事、平和学研究者による講演がありました。オンライン配信を併用して開催し、会場では16医療機関より会員16人、一般の方は25人が参加されました。オンラインでは6医療機関より会員6人、一般の方は8人、会場・オンライン全体で55人が参加されました。



(事務局)

協会会員数	
内科	655人
歯科	338人
合計	993人
(7月31日現在)	

## 主な記事

- ・2022年度 保団連 研究・学術活動交流会……………2面
- ・歯科研究会「医療安全対策等学習会」……………3面
- ・わたしの主張「医師会立看護学校の現状」……………3面
- ・2021年度新規個別指導結果(佐賀県・歯科)……………4面
- ・共済部だより「グループ生命保険」申込・金額変更受付中……………6面

# 第41回定期総会を迎えて



会長 藤戸好典

佐賀県保険医協会は発足以来、地域住民のための医療・介護等の社会保険・福祉の改善充実運動とその地域医療・介護を全力で担っておられる

先の方・医療介護従事者の皆様方の経営・生活向上に向けて、役員と事務局長が一元となつて全力で多くの活動に取り組んでまいりました。昨年の第40回という記念すべき大きな節目の大会は、残念ながらコロナ感染症の蔓延で感染防止のため簡略化した総会となつてしまいました。今年こそは昨年の無念さを晴らし盛大な総会と願っております。

さてロシアによるウクライナ侵略以降、エネルギー供給問題や食料供給問題が世界中の重大関心事となりました。エネルギーも食料も全く自給率の低い日本においては、これからますます物価上昇という状況が大問題となることは間違いありません。正規雇用労働者が減少し、20年以上にわたって実質賃金の上昇が全く見られない日本においては、他のいかなる先進国と比べても問題は非常に大きなものであります。どの政党が政権を担おうとも決して容易には改善できるような問題ではありません。

これからの国民の健康と生命を預かる医師・歯科医師の団体にふさわしい活動を力いっぱい進めてまいります。今後とも何卒会員の皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(2022年8月27日)

もちろん高齢者にとっても大きな問題であります。年金はマクロスライド制の導入に

よつて削減され、10%の消費税にもやつとのこと耐えてきたこの時期に、10月からは後期高齢者の医療費窓口負担が2割化されようとしています。物価が10%上昇しただけでもかなりの上げ幅だと驚く人がほとんどであろうところ、100%の上昇です。日本中の国民にとってかくも緊急事態時にわざわざ後期高齢者の窓口負担を2倍にせずとも良いはずであります。このような状況で我々保険医協会員の活動はこれからはますます重要性が増大することは明らかです。

もう10年以上前のことだが、金曜夜の福岡発東京便に乗っていたら通路を隔てた隣の席に音楽関係の論文の査読?をしている60過ぎの男性のことが気になった。しばらくして、元九大教授で精神科医の北山修氏ではないかと思ひ、着陸後に声を掛けてみたらやはり本人だった▼彼は1946年生まれで私の7学年上になる作家だ。古くは加藤和彦らと共に結成したザ・フォーク・クルセダーズの一員で、私の中学時代にヒットした「帰って来たヨッパライ」も有名だが、代表作は「戦争を知らない子供たち」である。当時彼のファンだった私は、高校3年の夏まで志望校は彼の母校である京都府立医科大学だった▼さて、わが国の戦争を知らない子供たちの最高齢者は今年77歳になる。超高齢社会とはいえない人口の大平た。高度成長期を経て現在では人口減少に伴う低成長期に入り、SDG(持続可能な開発目標)が掲げられている。貧富格差も仕方ないとする都市型から、貧しい人にも光を当てる地方型へと取戻する中でロシアのウクライナ侵攻が始まった。そして、8月には中国の台湾包囲の軍事演習も行われた▼ロシアや中国はプロパガンダで世論を固める国で、強気な外交が政府の支持率を上げる最も有用な手段でブレキが利かなく、その結果、長生きずと戦争を経験せず一生を終えることはできない可能性が出てきた。(武雄市 田中 裕幸)